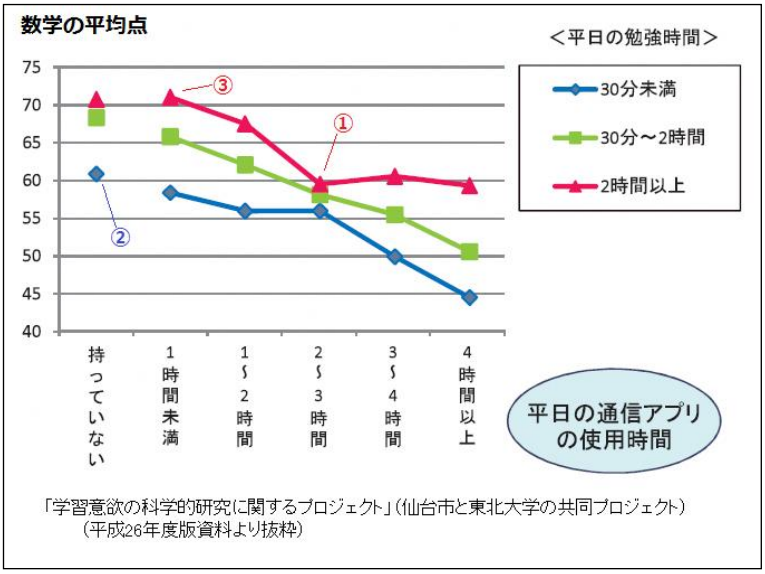
平成３０年度　青少年のネット非行・被害対策情報　＜児童生徒向け 第４号＞
差出人：福井県安全環境部県民安全課
送信日：2018/ 6/ 29

長時間の通信アプリの使用、成績低下のおそれ？
～どのようにスマートフォンと付き合っていけばよいか～

【数学の点数と平日１日の通信アプリの使用時間との関係】



「学習意欲の科学的研究に関するプロジェクト」（仙台市と東北大学の共同プロジェクト）
（平成26年度版資料より抜粋）

左のグラフは、仙台市教育委員会と東北大学が共同で研究を行った調査のうち、「数学の点数と平日１日の通信アプリの使用時間との関係」について、自宅で平日２時間以上勉強するグループ、30 分から２時間勉強するグループ、30 分未満のほとんど勉強しないグループの３つに分けて示されたものです。

※仙台市の全小学校（５年～６年）および全中学校（１年～３年）が対象、有効回答数 43,524 名、平成 26 年４月調査

この調査結果から、平日の勉強時間が長い生徒も短い生徒も、平日の通信アプリの使用時間が長くなればなるほど、成績が低くなっていることがわかります。

また、「平日２時間以上勉強をしている（▲）が、通信アプリを２～３時間以上使っている生徒（※グラフ中①）」よりも、「平日の勉強時間 30 分未満（◆）だが、スマホ等を持っていない生徒（※グラフ中②）」の方が、成績が良くなってしまうという結果も見てとれます。

さらに、通信アプリの使用により、勉強時間や睡眠時間が少なくなるから成績が下がるのではなく、通信アプリの使用自体が成績を下げる方向に影響を与えている可能性があると研究チームは指摘しています。

ただし、平日２時間以上勉強している生徒は、１時間未満の使用において、わずかに成績が上がっています（※グラフ中③）。このことから、しっかり勉強をした上で、使用時間を決めるなど自律的な使用は効果があるのかもしれません。

今回紹介した調査を参考に、学習習慣とスマートフォンの利用方法やルールについて、今一度考えてみましょう。

＜参考＞
・仙台市「学習意欲の科学的研究に関するプロジェクト」ホームページ
http://www.city.sendai.jp/manabi/kurashi/manabu/kyoiku/inkai/kanren/kyoiku/project.html
・「学習意欲の科学的研究に関するプロジェクト」（平成 26 年度版）
http://www.city.sendai.jp/manabi/kurashi/manabu/kyoiku/inkai/kanren/kyoiku/documents/h26gakusyuiyoku.pdf

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。
【担当】福井県安全環境部県民安全課　角田
☎:0776-20-0745（直通）　メール：h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp